

<図1に転載した図の出典>

- A1) 足立己幸. 人間の「食」.食物の機能と生態(有山恒編)115-157p. 同文書院(1974)
- A2) 足立己幸.生活の質(QOL)と環境の質(QOE)のよりよい共生を.日本栄養士会雑誌.51.8.9-14(2008)
- A2) 足立己幸.食生態学—実践と研究. 食生態学—実践と研究.1.2-5(2003)
- A3,A4) 足立己幸.どのように人間生活とかかわるか—砂糖を个性的に食べる.「砂糖」(足立己幸編著) 227-279p.女子栄養大学出版部(1979)
- A3,A4) 足立己幸.「食事づくり」は自分&仲間表現～地球や環境、地域、くらしにあった多様な展開を～.主食・主菜・副菜料理成分表 第5版(針谷順子・足立己幸共編著)10-11p.群羊社(2023)
- A5) 足立己幸.食生活と環境とのかかわり.食生活論(足立己幸編著・秋山房雄著)79-121p.医歯薬出版(1987)
- A5b) Miyuki Adachi. A theoretical Model of Nutrition Education in Community. 10th ICN(1975)
- A5c) 足立己幸.「食生態学」にこめてきたこと“食環境の図”によせて.8p 国際シンポジウム「共食」と「孤食」の間:足立己幸先生を囲んで実行委員会(2006)
- A5c) 足立己幸.本書のコンセプトと期待.魚と人間と環境の循環「さかな丸ごと探検ノート」活用に向けて.「さかな丸ごと食育」(研究プロジェクト編著)1-7p.一般社団法人東京水産振興会発行(2011)
- A5d) Miyuki Adachi. Theories of nutrition education and promotion in Japan: enactment of the “Food Education Basic Law”. Asia Pac J Clin Nutr. 180-184(2008)
- A5d) Isobel Contento. Nutrition education in a Changing World. Web(2021.5.21)
- A6) 足立己幸.家族と“食を共にすること”共食の大切さ.親子のための食育読本(内閣府食育推進室(編集).13-21p.(2010)
- A7) 足立己幸.持続可能な社会に向けて「共食の地球地図」の提案.共食と孤食—50年の食生態学研究から未来へ(足立己幸編著・衛藤久美著)243-288p.女子栄養大学出版部(2023)